

<概要>

- 国会で前政権与党系選挙管理委員会委員及び選挙裁判所判事に対する弾劾裁判が行われ、賛成多数で弾劾・罷免が可決された。
- 審議が遅れていた2026年度予算案が国会で可決された。今年度予算案は昨年前政権によって閣議決定されていたが、国会本会議での審議に至らず、予算が成立しないまま政権交代となっていた。
- 米連邦高裁が（すでに恩赦が与えられていた）エルナンデス元大統領に対するニューヨーク地裁の有罪判決を取り消し、嫌疑が消滅した。

<本文>

1 内政・経済

（1）前政権与党の選挙管理委員会委員及び選挙裁判所判事の弾劾・罷免の可決

4月16日、国会で前政権与党リブレ党系のオチョア（Marlon Ochoa）CNE委員、モラサン（Mario Morazan）選挙裁判所判事、グティエレス（Gabriel Gutierrez）同判事代行、メヒア（Lourdes Mejia）同判事代行に対する、2025年の予備選や本選挙での選挙妨害、サボタージュ等の行為についての弾劾裁判が行われ、賛成多数で弾劾・罷免を可決した。これに先立ち、上記4氏に対して国会での喚問が予定されていたが、出席したのはモラサン判事のみで、残りの3人は出頭せず、代わりに最高裁に対して今回の立法府は違法として手続き停止を求める申し立てを行った。

（2）在外ホンジュラス人移民の帰国者の増加

4月17日付国内主要紙はホンジュラス移民庁（INM）の話として、今年第1四半期のホンジュラスへの帰国者・送還者数は11,621人で、前年同期比19.8%増（1,920人増）となっていることや、現在、米国には正規、非正規を合わせて約180万人のホンジュラス人が居住していること、また今回の米国からの帰国者のうち、9,594人は、米国当局の司法判断による強制送還、2,027人は米国の支援付帰国プログラムによって帰国している旨報じた。

(3) 2026年度予算成立

ア 4月21日、審議が遅れていた2026年度予算案が国会で可決された。今年度予算案は昨年9月に前リブレ党政権によって閣議決定されていたが、国会本会議での審議に至らず、2026年の予算が成立しないまま政権交代となった。新政権は予算の見直し後、4月になって国会に修正案を提出した。国会では現与党国民党と自由党との協議によって予算案が修正され、昨年度から微増の4,443.3億レピーラ(2025年度4,309.78億レピーラ)で可決した(米ドル換算では成案当時の為替レートでほぼ同額の約167億ドル)。

イ 中央政府の主な予算(単位:レピーラ、カッコ内は2025年度予算):

- | | | |
|------------|----------|------------|
| (1) 総額: | 2,638.0億 | (2,666.6億) |
| (2) 教育省: | 464.4億 | (427.5億) |
| (3) 保健省: | 313.9億 | (292.7億) |
| (4) インフラ省: | 175.9億 | (152.3億) |
| (5) 治安省: | 133.3億 | (114.7億) |
| (6) 国防省: | 123.6億 | (108.4億) |
| (7) 内務司法省: | 118.3億 | (115.8億) |
| (8) 農牧省: | 46.7億 | (90.1億) |

2 外交

(1) エルナンデス元大統領に対する嫌疑の消滅

4月10日、米連邦高裁が(すでに恩赦が与えられていた)エルナンデス元大統領に対するニューヨーク地裁の有罪判決を取り消し、同人の起訴及び嫌疑が消滅したと報じられ、同14日に米連邦地裁キヤステル判事がエルナンデス元大統領に対する事件を「目的を欠く」として棄却し、これにより同人に対する米国での司法手続きが正式に終了したと報じられた。

<主要経済指標>

◇主要経済指標	2025 年	2026 年		
		1 月	2 月	3 月
インフレ率（前年同月比）	4.96	4.23	3.46	3.94
貿易収支（百万ドル）	▲6,234.7	—	—	—
輸出（百万ドル）	12,227.2	—	—	—
輸入（百万ドル）	18,461.9	—	—	—
外貨準備高（百万ドル）	10,219.1	9,739.8	9,703.3	10,219.1
外国からの送金（百万ドル）	11,904.4	—	—	—
為替レート（対ドル月平均）	26.48	26.54	26.61	26.70

（出典：ホンジュラス中央銀行）

（了）